

スリットの設定パターンの登録方法

文書管理番号：1164-01

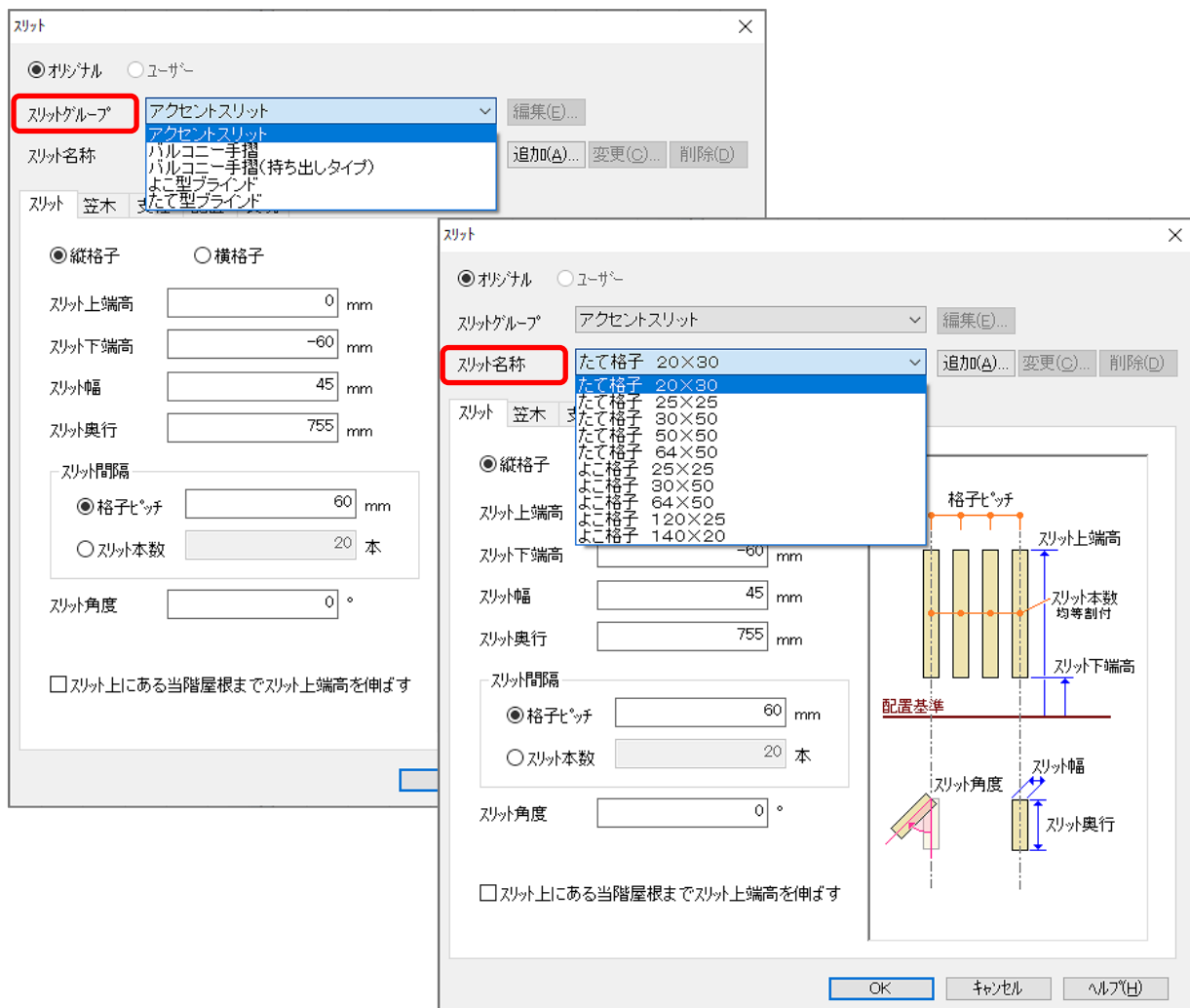
Q. 質問

よく利用するスリットの設定パターンを登録して使用したい。

A. 回答



プラン図の (スリット)は、様々な意匠の表現に利用でき、サイズやピッチなどの設定パターンを登録しておくことができます。登録したパターンは一覧から選択し、すぐに読み込めますので、その都度設定する手間を省略でき、便利です。

また、初期設定でも、スリットグループとスリット名称に、いくつかのサイズのパターンが登録されています。



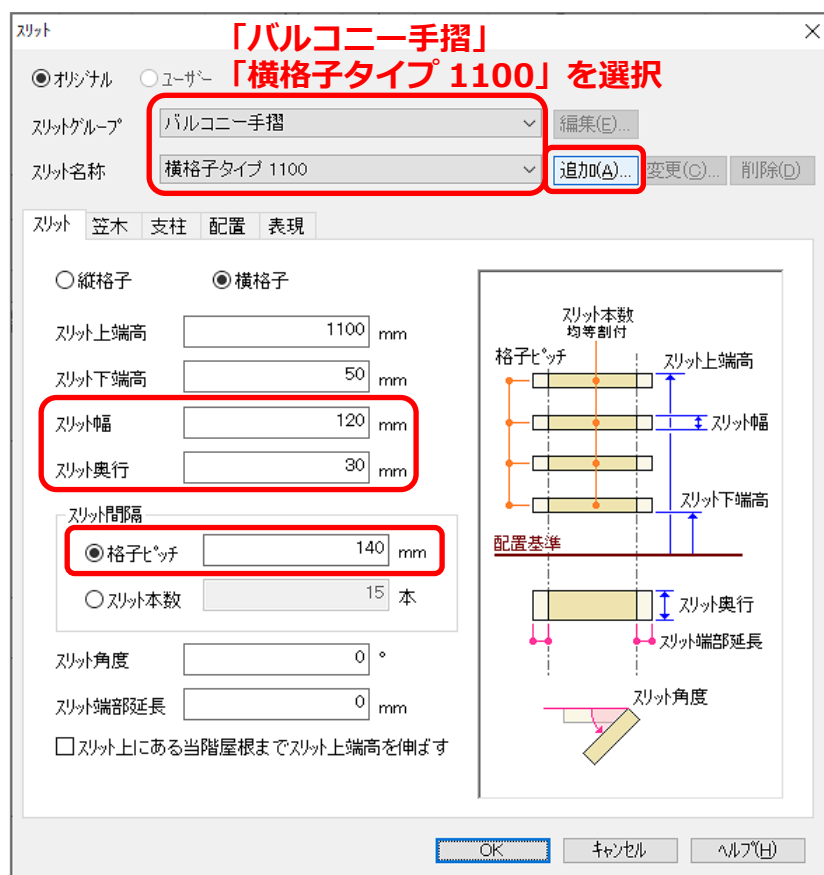
操作手順

バルコニーの横格子手摺の表現パターンを、スリットの設定に追加する手順を例に説明します。

- ① プラン図で、 (付属品)の (スリット)をクリック
 - * スリットの設定画面が表示されます。
- ② スリットの設定画面で、「スリット」「笠木」「支柱」「配置」「表現」の各タブ内の項目を設定
 - * ここでは、「バルコニー手摺」に登録されてる「横格子タイプ 1100」をもとに、横格子幅の異なるタイプを追加します。
 - * スリットグループ「バルコニー手摺」、スリット名称「横格子タイプ 1100」を選択し、「スリット」タブの以下の項目のみ設定を変更します。

【スリット】

- * スリット幅「120」
- * スリット奥行「30」
- * スリット間隔
格子ピッチ「140」
- * その他の項目は変更しませんが、任意に設定してください。



- ③ 設定を変更後、スリット名称右横の「追加」をクリック
スリット名称追加・変更の画面が表示されます。

④ スリットグループは「バルコニー手摺」を選択し、登録するパターンの名称を入力

* ここでは、「横格子 120 幅」とします。

⑤ 「OK」をクリック

* 「ユーザー」区分のスリットグループ「バルコニー手摺」のスリット名称に、設定パターンが追加されます。

* 次回からは、ユーザー区分でスリットグループとスリット名称を選択し、設定パターンを呼び出して利用することができます。

【参考】

登録した設定パターンのスリット名称は、「変更」から編集できます。

設定パターンの内容を変更する場合は、「追加」から別名称で保存し、変更前のパターンを「削除」後、スリット名称を変更してください。同じスリット名称での追加（上書き）はできません。

スリットの設定や利用については、こちらをご覧ください。

[\[1033\] バルコニーの横格子手摺の作成](#)

[\[1108\] 小屋裏収納やロフトの入力方法【部品の利用】](#)（ロフトの手摺に利用）

[\[1163\] 格子状（スリット、スノコ）の床を入力する方法](#)

参考：スリットグループの追加

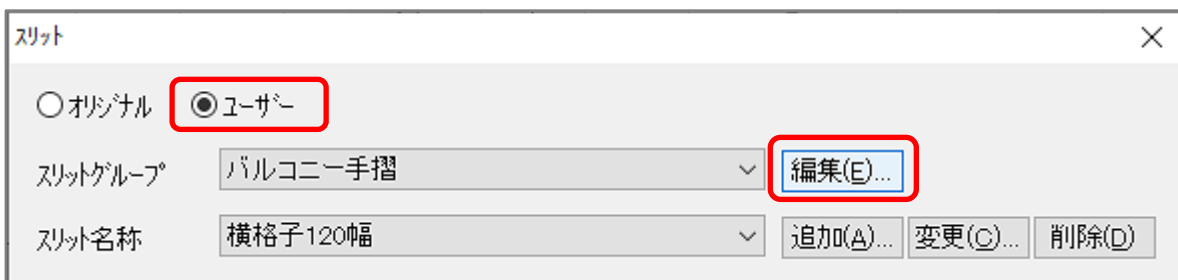
スリットグループの「編集」からスリットグループを追加し、ユーザー区分のスリットパターンを、グループ別に分けて管理することができます。

スリットグループの「編集」は、ユーザー区分にスリット名称が追加されていると選択できます。

- ①  (付属品)の  (スリット)をクリック

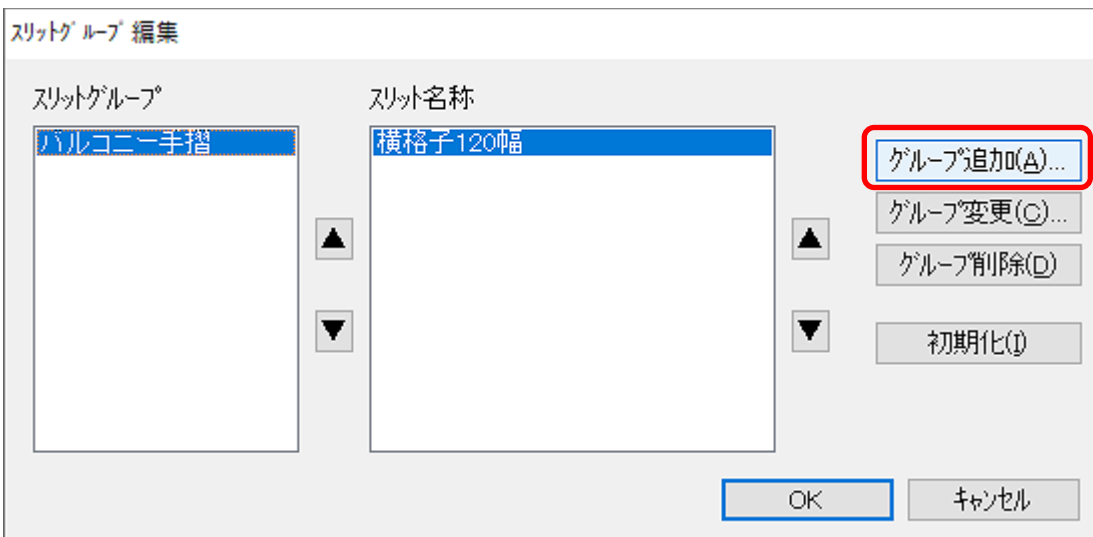
* スリットの設定画面が表示されます。

- ② 「ユーザー」区分で、スリットグループ右横の「編集」をクリック



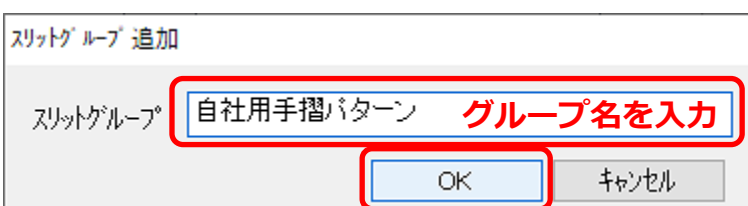
* スリットグループ編集の画面が表示されます。

- ③ 「グループ追加」をクリック

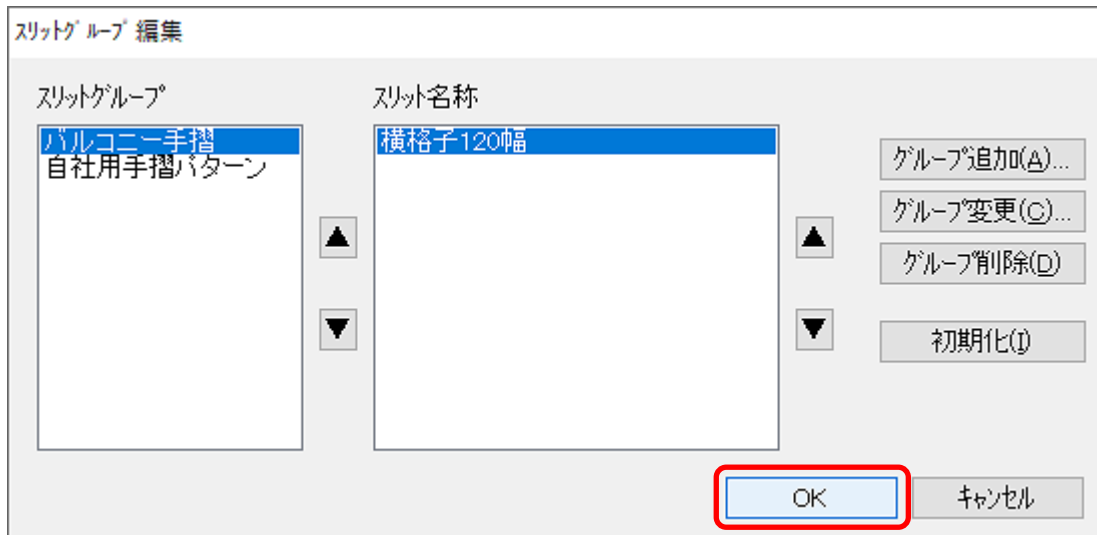


* スリットグループ追加の画面が表示されます。

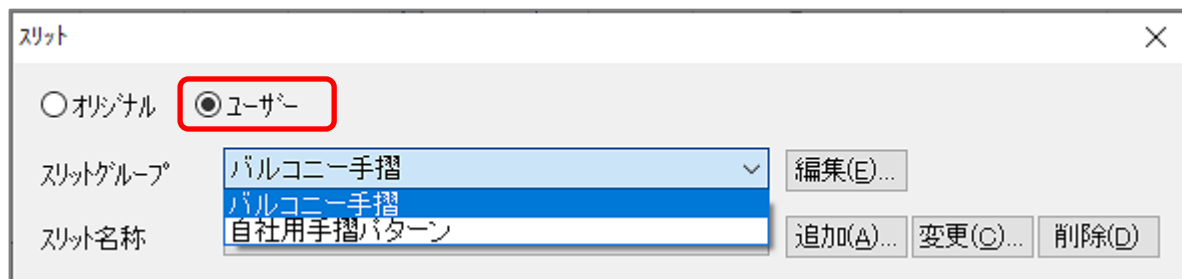
- ④ グループ名を入力し、「OK」をクリック



⑤ スリットグループ編集の「OK」をクリック



* ユーザー区分のスリットグループに追加されます。



【参考】

スリットグループ編集では、スリットグループの追加やグループ名の編集、グループの削除が行えます。

また、スリットグループやスリット名称の並び替えもできます。

スリットグループの編集は、ユーザー区分に登録されているものが対象で、オリジナル区分にあらかじめ登録されているものは編集できません。

【注意】

スリットグループを削除すると、そのスリットグループに登録されているスリット名称も一緒に削除されます。

スリットグループ編集の「初期化」を実行すると、ユーザー区分に登録済みのスリットグループ、スリット名称がすべて削除され、オリジナル区分のみに戻ります。